

ゆめーる・かほく 〔中学校版〕

2013. 10. 17
No. 11
山鹿市教育委員会
教育総務課
鹿北中学校

清流祭に向けて



まずは、合唱です。クラスごとに自由曲を決め、音楽室や体育館で朝や昼休みの時間を使って練習しています。また、給食準備の時間を使って、清流ギャラリーにパートごとに集まり、「山のいぶき」の練習もしています。クラスごと、パートごとなどさまざまな関わりがあり、みんな協力して歌声と心を合わせています。

また、クラスごとの劇もあります。セリフ合わせをしながら動きを確認したり、どのような口調で言ったらいいかなどの

意見を出し合ったりしています。また、背景作りや大道具小道具作り、効果音の選出など、裏方の仕事もたくさんあります。クラスの絆を深める絶好の機会です。みんなで協力し、さらによりよいものになるように最後の仕上げをしています。

さらに、生徒会四役をはじめ、学習委員会、情報委員会、すこやか委員会の取り組みもあります。委員会の活動の活性化が、清流祭の盛り上がりを支えています。

清流祭にはこの他にも、弁論、英語暗唱、吹奏楽部の演奏があります。今年、城北高校のダンス部も参加して下さいます。「芸術の秋」にふさわしく、鹿北中も芸術の一日に染まります。

【生徒の言葉】

体育館では、劇のセリフの確認、照明、効果音と合わせるなどの活動をしています。教室では、

背景や大道具などを作成しています。背景は大きくて大変ですが、みんなで協力して頑張ります。(3年)



歌の練習を頑張っています。パートごとに音程を確認するために、7時20分に集合して朝練に取り組んできました。おかげで、ずいぶん自信を持って歌えるようになりました。本番でも頑張ります。(2年)

総合的な学習の時間のまとめをパソコンで作成しています。農業体験の目的、学んだこと、これから生かしたいことなど、見ている人に注目してもらえるようにまとめ方を工夫しているとあります。(1年)

活発な研究授業

今年度の校内研修のテーマは、「学びのマネジメント力を身に付けた清流人づくり」循環型学習の定着と教科の本質に迫る学び合いの授業づくりです。

2学期に入り、鹿北中では2つの研究授業が行われました。9月26日には1年生の音楽、10月9日には2年生の英語がありました。

音楽の授業では、楽譜にあるフォルテなどの強弱記号に注目し、そこに込められた作者の思いを考えました。個人で考えたあとパートで練習し、そのことが聞いている人に伝わるように、最後にみんなで歌いました。

【生徒の感想】

作者の思いをみんなで出し合い、それをイメージしながら歌うことができました。



した。これからもっと練習したいです。

英語の授業では、リオの地球サミットで環境問題に対する危険を訴えた当時12歳のセヴァンさんのスピーチを英語で読んで、「私たちに何ができるか」について英語で書き、その根拠まで述べました。子どもたちが写真を提示しながら自分の思いを発表しているのを見て、今まで習った表現をしっかりと活用できていると感じました。

【生徒の感想】

先生にアドバイスをもらい、習ったことを使って英語で表現できました。自分の考えをみんなの前で伝えることができていることができてよかったです。

